

135

竹田ルネサンス2018

開催日：平成30年10月6日(土)～11月25日(日)

開催場所：竹田市内各所



アート・クラフトフェア in TAKETA



荻地域文化交流祭おおいた 2018



TAKETA ART CULTURE 2018



荻地域文化交流祭おおいた 2018

●実施状況

それぞれの地域において独自の歴史や自然、地域文化や風土を醸成してきた竹田市。「竹田ルネサンス2018」では、先人たちから受け継いできた多彩な文化・芸術的要素を再発見するとともに、次の世代への種を蒔く5事業を展開しました。

「アート・クラフトフェア in TAKETA」では、ものづくりを生業とする人々の移住が進む竹田市内で、地域ブランドの創出と次世代を担う「つくりて」たちの発表の機会を生み出していくことを目指し、作家作品の展示、選考委員による講演会などを実施しました。2日間で1,500名の方々にご来場いただき、「つくりて・つなぎて・つかいて」のそれぞれの立場で、ものづくりの今とこれからの見つめ直す良い機会となりました。

「TAKETA ART CULTURE 2018」では、竹田市内在住作家らの作品を城下町のギャラリーや空き店舗に展示し、まち歩きの中で作品を体験していただきました。会場の配置を回遊性が期待できるよう工夫した他、文人・喫茶文化を背景としたワークショップや茶席「竹田アート茶会 淡楽雅遊」など、これまでにない取り組みを実施した結果、23日間で1,200名を超える参加者に楽しんでいただきました。デザイナーの猿山修氏や

キュレーターの花田伸一氏、建築家の光浦高史氏(DABURA.m)など、各分野の専門家をアドバイザーとして迎えたことも、質の高いイベントにつながりました。

「荻地域文化交流祭おおいた2018」では、豊かな大自然の恵みと荻地域の基幹産業である農業や自然と人間社会の共生について参加者が学び合い、豊かな農村文化の継承を図ることを目指し、演劇やシンポジウムを実施しました。第一部では地元緑ヶ丘中学校の生徒による「豊穡の大地」を上演。第二部では祖母・阿蘇の大自然により形成された荻地域の人々の営みに焦点をあてたユネスコエコパークシンポジウムと檀ふみさんのトークイベントを行いました。演劇を披露した中学生をはじめ、準備段階から多くの市民が関わったことにより、大会当日は多くの来場者の共感を得ることができ、農業文化継承への期待が高まる大会となりました。

『くじゅうの山』絵画コンクール作品展覧会&榎木孝明トークショー」では、美しさと厳しさをあわせ持ち、季節により異なる魅力をみせる「くじゅう連山」の魅力を絵画で表現し、後世に語り継ぐ文化の土壌を育むため、全国公募した絵画の入賞作品24点を8日間にわたって展示しました。あわせて開催したトークイベントには、俳優で画



「くじゅうの山」絵画コンクール作品展覧会&榎木孝明トークショー



全国炭酸泉シンポジウム 2018



家の榎木孝明氏が出演。久住高原を散策、スケッチしていただいた経験を踏まえ、絵画と人生、教育との関係など、味わい深いお話を伺うことができました。

「全国炭酸泉シンポジウム2018」では、炭酸泉を活用した新たな地域振興策を提案していくことを目的として、全国の炭酸泉湧出自治体や関係機関と連携したシンポジウムを実施しました。竹田市の「長湯温泉」での炭酸泉温浴や飲泉による健康への効果を医科学的に実証する取り組みや、健康と美容増進プログラムを組み合わせた体験型の観光コンテンツ開発事例等が紹介されました。市内外から300人の参加者が訪れ、医科学的効能はもとより、新たな視点で温泉文化を利活用し、楽しむ視点を広げるきっかけとなる大会となりました。

●プログラム

- ① アート・クラフトフェア in TAKETA
11月24日（土）～25日（日）グランツたけた
- ② TAKETA ART CULTURE 2018
10月6日（土）～28日（日）城下町エリア
- ③ 荻地域文化交流祭おおいた2018
11月23日（金・祝）荻福祉健康エリア
- ④ 「くじゅうの山」絵画コンクール作品展覧会&榎木孝明トークショー
11月18日（日）～25日（日）久住高原美術館
- ⑤ 全国炭酸泉シンポジウム2018
10月8日（月・祝）竹田市直入公民館

●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 竹田市 竹田市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭、第18回全国障害者芸術・文化祭竹田市実行委員会 ②竹田アートカルチャー実行委員会 ③荻地域文化交流祭推進会議、⑤全国炭酸泉シンポジウム実行委員会

136

第14回大分アジア彫刻展・特別企画

朝倉文夫の後輩たちによる野外制作「巨大 寝ころび招き猫」

開催日：平成30年9月29日(土)～11月25日(日)

開催場所：朝倉文夫記念公園



●実施状況

豊後大野市出身の彫塑家、朝倉文夫は愛猫家として知られ、猫の作品を数多く制作しました。このエピソードにちなみ、朝倉の後輩にあたる東京藝術大学の深井隆教授や学生ら制作チーム10名が、朝倉文夫記念公園にて、朝倉をオマージュした作品「巨大 寝ころび招き猫」を制作しました。

制作期間は8月24日から9月2日の10日間で、素材には豊後大野市産の杉と市木であるクヌギを使用しました。また、制作中は地元の方々がボランティアとして参加し、木の移動や木くずの処理、お茶出しなど、制作の補助を行いました。

完成した作品の大きさは横幅10.4m、高さ3.7m、奥行2.5m。9月1日には地元の児童ら約100名を招待し、招き猫のおひろめ会を行いました。巨大な猫の作品に子どもたちも興味津々で、直接触ったり、しっぽに座ったりして、楽しんでいました。

会期中には、招き猫と並行して制作された小さな猫4体や、地元朝地町創作クラブによるストーンペインティングの猫も園内に展示するとともに、それらを探す企画「ちいさな猫をさがせ!」を実施し好評を博しました。

10月21日にはワークショップを行い、34名が

参加しました。制作にあたった先生ら3名が講師として再訪し、猫の形をした絵馬に、参加者それぞれが、絵や願い事を書き込みました。

期間全体を通して、10,000人以上の方が来場。子どもからご高齢の方まで幅広い年齢層の方に大変喜ばれました。

東京藝大関係者の技術力と地元の方々など多くの皆様のご協力によって、一つの大きな作品が作られ、結果として、それが多くの来場者の感動を呼び、彫刻の素晴らしさを再認識していただく良い機会となりました。

●プログラム

8月24日(金)～9月2日(日)	招き猫制作
9月1日(土)	おひろめ会
9月29日(土)～11月25日(日)	展示期間
9月29日(土)～11月25日(日)	

「巨大 寝ころび招き猫」制作記録写真展
10月21日(日)(午前、午後1回ずつ) ワークショップ

●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 豊後大野市 豊後大野市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭、第18回全国障害者芸術・文化祭豊後大野市実行委員会

137

ふるたおりべ

古田織部と竹田キリシタン

開催日：平成30年10月6日(土)～11月4日(日)

開催場所：竹田キリシタン資料館

出合いの場

祈りの谷

豊かな浦

耕す里

水の森



●実施状況

竹田市には、指定文化財「キリシタン洞窟礼拝堂」や重要文化財「サンチャゴの鐘」をはじめ、多くのキリシタン遺跡・遺物が存在し、それらの多くが禁教令の時代を経て現代まで受け継がれてきました。

また、千利休亡き後の天下の大茶人として知られる古田織部は、高山右近や蒲生氏郷といったキリシタン大名との親交が厚く、本人のキリシタン説も囁かれています。古田織部の血脈は、この竹田市に受け継がれており、また利休の大成した詫び茶もキリシタンからの影響を強く受けていると言われています。

本大会を開催したことにより、竹田市と古田織部との縁、そして、キリシタンとお茶との関係をもとに、新しい視点から竹田におけるキリシタンの歴史に触れる機会となり、さらに全国に発信することで、竹田市に息づく織部流茶道を中心とした茶の湯文化の振興を図るきっかけとなりました。

特に、竹田市と歴史文化姉妹都市の協定を締結している茨木市で発見された「聖フランシスコ・ザビエル肖像画」のレプリカ、またザビエルの遺体の一部を展示したことで、注目度が高まり、ガイドツアーも好評で市内外から訪れた多くの来場者を喜ばせることができました。

●プログラム

10月6日(土)～11月4日(日)

「織部はキリシタンか？」

(会場：竹田キリシタン資料館)

十字をあしらった茶碗類や織部とキリシタンとの関連資料の展示

「すべてはこの男からはじまったー」

(会場：竹田キリシタンホール)

常設展示されているイコン画に加え、世界に三か所しか存在しないザビエルの聖遺物(右腕の皮膚の一部)と肖像画を同時に展示

10月13日(土)～14日(日)

「織部流茶会」(会場：竹田創生館)

通常は京都市でしか見ることのできない織部流の点前を、竹田市の武家屋敷通りにある創生館で織部美術館長自らが実施、時代装束と安土桃山時代の茶碗に加えて、能楽を取り入れた茶会を開催

●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 竹田市 竹田市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭、第18回全国障害者芸術・文化祭竹田市実行委員会 NPO法人竹田キリシタン未来計画

138

〈グランツたけた〉オープニングフェスタ 竹田で出会う美しい日本

開催日：平成30年10月7日(日)～14日(日)

開催場所：竹田市総合文化ホール グランツたけた



●実施状況

竹田を愛し世界が認めた文豪・川端康成の追及した「美しい日本」をテーマにした企画展と、南画の大家である田能村竹田を主軸にしたステージトークイベントを開催しました。

企画展については、川端康成と竹田市を結びつける書や絵画を導入部とし、日本の美と歴史を学ぶコンテンツとして「日本刀」と「茶の湯」2つの世界で構成した展示を行いました

竹田市で日本刀鍛錬場を開設し、刀鍛冶として活動している興梠房興氏が挑んだ阿蘇神社の幻の名刀「蛭丸」を復元した「蛭丸伝説プロジェクト」の紹介と「復元刀」、さらに豊後刀を中心とした日本刀の展示を行いました。あわせて、竹田に血脈が残る茶人「古田織部」に関する資料と、古田織部の弟子の一人である本阿弥光悦作の茶碗「有明」にスポットをあてた展示を行い、来場者の心をつかみました。

刀剣研究家と刀匠によるギャラリートークは、専門的な知識や学術的な視点を交えつつ、刀剣愛好家に限らず多くの参加者に関心をもってもらえるようオープンスペースで開催。また、金属のプレートに名前等を掘る銘切を実施し、職人の技に触れる機会を設けました。

ステージトークイベントでは、「消えゆくものと、芽吹くもの」をテーマに日本文学研究者の口

バート キャンベル氏と直木賞作家の江國香織氏の対談を行いました。田能村竹田の才能を育んだ竹田市において、絵画や言葉の視点から繰り広げられた対談は、竹田で繋がる美や歴史・文化を改めて検証する機会となりました。

期間中2,000人超の来場者が訪れ、竹田市で醸成されてきた文化的素材を全国に発信することができました。

●プログラム

- ・展示
10月7日(日)～14日(日) 10:00～17:00
- ・ギャラリートーク
10月7日(日) 14:30～/16:00～
中原 信夫氏 (刀剣研究家)
興梠 房興氏 (竹田市の刀匠)
- ・ステージトークイベント
10月13日(土) 14:00～16:00
「消えゆくものと、芽吹くもの」
ロバートキャンベル氏 (日本文学研究者)
江國 香織氏 (直木賞作家)

●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 竹田市 竹田市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭、第18回全国障害者芸術・文化祭竹田市実行委員会

〈グランツたけた〉オープニングフェスタ

139

開館記念ピアノ・室内楽コンサート

開催日：平成30年10月14日(日)

開催場所：竹田市総合文化ホール グランツたけた



●実施状況

竹田市民の文化活動の拠点として親しまれた竹田市文化会館は、平成24年7月の九州北部豪雨で被災しました。災害を乗り越え、平成30年10月7日に竹田市総合文化ホール「グランツたけた」が開館。災害からの復興と新たな文化拠点の幕開けを祝うとともに、音楽を通して豊かな人間性を育む土壌づくりを目指して、初めてクラシック音楽に触れる方や小さな子どもも気軽に楽しむことができるコンサートを開催しました。

別府アルゲリッチ音楽祭の総合プロデューサーでピアニストの伊藤京子氏、アルゲリッチフレンズとしてピノキオコンサートや音楽祭に出演され、広く国内外で活躍されているヴァイオリニストの川久保賜紀氏のお二人をお迎えし、「0歳からの親子コンサート」と「大人のコンサート」の二部構成で実施しました。

運営面では、日頃音楽ホールに足を運ぶ機会の少ない子育て世代にも良質の音楽に触れていただけるよう、無料託児サービスを提供するなど、誰もが参加し楽しむことができるコンサートとなるよう配慮しました。

また、少子化により活動を休止していた竹田市少年少女合唱団が、国民文化祭を機に新しい合唱団と

して再結成され、本コンサートの第一部において特別出演者のお二人と共演するなど、次世代育成に向けた大きな一歩を踏み出すイベントともなりました。

●プログラム

第一部 「0歳からの親子コンサート」

- W.A. モーツァルト：ピアノ・ソナタ 第11番 k.331 より第3楽章「トルコ行進曲」
- F. クライスラー：愛の喜び
- F. クライスラー：愛の悲しみ
- F. クライスラー：美しきロスマリン
- 竹田市少年少女合唱団の皆さんによる合唱「ゆうぎ」

第二部 「大人のコンサート」

- F. ショパン：バラード 第1番 ト短調 op.23
- E. イザイ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 第2番 イ短調より 第1楽章 オブセッション
- B. バルトーク：ルーマニア民族舞踊
- L.v. ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ 第5番 ヘ長調「春」 op.24

●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 竹田市 竹田市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭、第18回全国障害者芸術・文化祭竹田市実行委員会

140

〈グランツたけた〉オープニングフェスタ

竹8シネマプロジェクト地域映画完成上映会・トークイベント

開催日：平成30年10月28日(日)

開催場所：竹田市総合文化ホール グランツたけた



●実施状況

昭和時代に撮影された8ミリフィルムを用いた市民参加型の地域映画を制作、上映しました。

制作過程では、市民の皆さんに8ミリフィルムの提供を募ったところ、予想をはるかに上回る400本の8ミリフィルムが集まりました。また、映像技術等に関するワークショップ等を実施し、子どもから高齢者まで多くの方が企画や編集作業に携わったことで、新聞、雑誌、情報誌、テレビ、ラジオなど数多くのメディアに取り上げられ、市内外で大きな反響がありました。

上映会当日は、映像やデザイン分野の第一人者を迎えてのシンポジウム、8ミリフィルム提供者や制作に関わった子どもたちの紹介、メイキング映像など、多彩なプログラムを用意。会場は満席の参加者で埋まりました。

アンケートには「地域文化の掘り起こし、地域活性化の意識に繋がる」「私の人生にインパクトを与えてくれた」などの声が寄せられ、地域映画の可能性、多世代間の交流が芽生える場を創出できた大会となりました。

●プログラム

- 1 参加型シンポジウム
「覗いてみよう、竹田の過去 現在 未来」
ファシリテーター
・江上 剛（作家・TVコメンテーター）
登壇者
・とちぎ あきら（イマジカウェスト顧問・元国立近代美術館 フィルムセンター主幹）
・須永 剛司（東京藝術大学デザイン科教授・情報デザイン 分野の第一人者）
・三好 大輔（株式会社アルプスピクチャーズ代表取締役、東京藝術大学大学院特別研究員）
- 2 メイキング映像
映画完成までの道のり
- 3 竹8音楽会
- 4 三好監督 挨拶
- 5 「竹田ん宝もん」上映

●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 竹田市 竹田市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭、第18回全国障害者芸術・文化祭竹田市実行委員会

141

竹田みんなでアート

開催日：平成30年11月2日(金)～4日(日)、11月10日(土)～25日(日)

開催場所：久住高原パルクラブ、竹田市城下町一円



●実施状況

竹田市で初めて実施する障がい者アートに特化した取り組みとして、文化・福祉・教育などの枠を超えて準備を進めました。クリエイターの移住・定住施策を推進しているまちの利点を活かし、障がい福祉施設等に講師としてクリエイターを派遣し、利用者とともに協働制作を行いました。

作品は、障がい福祉施設でのイベント「キダーフェスト」の会場において展示した他、「店コレ」と銘打ち、商店街の9つの店舗を展示会場とし、障がい者と作家双方の社会的接点を設けるとともに、地域社会での理解を深めることとしました。

全ての展示スペースには、地元の美術ユニットが空間デザインを施し、一つ一つの作品に目が行き届くような配慮を行い、グレードの高い展示会となりました。

また、アーティストやクリエイターらと障がい者がともに作品の制作や音楽などの文化活動を行っている福岡県の障害福祉サービス事業所「JOY倶楽部」の利用者やスタッフを招聘し、子どもから高齢者まで参加できるライブペインティングのワークショップを行い、「障がい」というバリアを超えて交流できる取組みを実施しました。

大会期間中の観客数は5,000人を超え、障がい

者アートの振興と地域社会での相互理解の推進を図ることができました。

他にも、創作活動に意欲、関心がある障がい者を対象に作品制作に集中できる環境とクリエイターによるアドバイスを受ける機会を提供する「アート集団パンゲア」を実施し、所属する施設に関わらず、多くの障がい者の皆様に参画いただきました。

●プログラム

11月2日(金)～4日(日) 「キダーフェスト」

- ・作品展示
- ・ステージイベント (2日のみ)
- ・ライブペインティング (3日のみ)

11月10日(土)～25日(日) 「店コレ」

●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 竹田市 竹田市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭、第18回全国障害者芸術・文化祭竹田市実行委員会

142

〈グランツたけた〉オープニングフェスタ 「耕す里」の竹田文化祭

開催日：平成30年11月10日(土)・11日(日)

開催場所：竹田市総合文化ホール グランツたけた



●実施状況

平成30年10月7日に開館した竹田市総合文化ホール「グランツたけた」オープニングフェスタの一環として、ジャンルや世代を超えて市内の芸術文化団体が一堂に集う『「耕す里」の竹田文化祭』を、2日間にわたり開催しました。

1日目は、27組の個人、団体の他、特別ゲストとして篠笛演奏家の石原千穂子氏（広島県）が出演し、舞台上も客席も子どもからお年寄りまで多くの世代が一堂に会する大会となりました。

2日目は、神楽座の競演を行い、神楽座の研鑽の機会また伝統芸能を次の世代に引き継いでいく人材育成の場となりました。

展示部門には、絵画や手芸、生け花など200点を超える作品が集まりました。本大会で特筆すべきは障がい児デイサービスの子どもたちからの出品があったことで、障がいの有無にかかわらず創造力の新たな芽を見出す場となりました。

また、郷土料理のコーナー「ばあばの台所」では、竹田市の特産物を使い地域の家庭で受け継がれている「食文化」を体験する機会を提供しました。さらに本大会を「食」を通じて盛り上げる「TAKETA KITCHEN」（屋台）を芝生広場で開催し、グランツたけたが地域の交流の場として親

しまれる取り組みの好事例にもなりました。

2日間で延べ2,500人を超える参加者が訪れ、新たな文化拠点の門出にふさわしい、賑やかな大会となりました。

●プログラム

11月10日(土) 10:40~16:30

- ・大ホール ステージイベント 舞台発表
- ・ホワイエほか 作品展示
- ・市民ギャラリー 食文化体験コーナー「ばあばの台所」
(竹田市食生活改善推進協議会)

11月11日(日) 9:30~17:00

- ・大ホール ステージイベント 神楽競演
- ・ホワイエほか 作品展示
- ・芝生広場 TAKETA KITCHEN
(竹田商工会議所青年部)

●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 竹田市 竹田市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭、第18回全国障害者芸術・文化祭竹田市実行委員会

143

たけとうろう ちくらく たけた竹灯籠「竹楽」

開催日：平成30年11月16日(金)～18日(日)

開催場所：竹田市城下町一円



出会うの場

祈りの谷

豊かな浦

耕す里

水の森

●実施状況

竹田市の秋の風物詩「竹楽」は、里山文化の再生と、産業・文化の連環による地域活力の創造と推進を目的として始まりました。2万本の竹灯籠が立ち並ぶ城下町一円でコンサートなども行われ、竹田市の城下町の風情と竹灯籠が照らす街並みを毎年多くの皆さんに楽しんでいただいています。

一方で、このイベントも後継者の不足が喫緊の課題であり、新しい世代や市内外の人々に広く周知し、理解を深め、担い手を増やしていくことが求められています。そこで、「竹灯籠がつなぐ城下町と里山文化の交流の軌跡をたどる」というサブテーマのもと、国民文化祭に向けて企画を練りました。

まずは、「竹楽」の会場となっている城下町の里山保全館、図書館などで、里山文化の継承やこれまでの取り組みの軌跡を紹介するパネルやアルバムを作成、展示することで、来場者に広く周知を図りました。

また、岡藩時代の迎賓館として使用されていた御客屋敷において、国民文化祭特別企画として、地域の伝統芸能を披露する「プレミアムナイト」を開催し、NPO法人里山保全竹活用百人会の関

係者による里山保全や竹楽の軌跡などについての講話を行いました。

竹田市を代表する大規模な事業に成長したイベントの目的や趣旨を改めて見つめ直し、その理念を広げることで、将来的に持続可能なイベントへと導く機運の醸成を図ることができました。

初日は雨に見舞われたものの、3日間の期間中に98,000人の来訪者があり、実りあるイベントとなりました。

●プログラム

11月16日(金)

点火式 竹灯籠点火、プレミアムナイト(御客屋敷)

11月16日(金)～18日(日)

パネル展示(里山保全館、図書館、御客屋敷)

●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 竹田市 竹田市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭、第18回全国障害者芸術・文化祭竹田市実行委員会 NPO法人里山保全竹活用百人会

144

〈グランツたけた〉オープニングフェスタ

瀧廉太郎に捧ぐ「荒城の月」フェスタ

開催日：平成30年11月24日(土)

開催場所：竹田市総合文化ホール グランツたけた



●実施状況

竹田市で12歳からの2年あまりを過ごした瀧廉太郎が残した名曲「荒城の月」。岡城をモチーフに作られたと言われるこの曲は、今もなお竹田市の人の暮らしや心にしっかりと根を下ろしています。そんな竹田市で、思い思いの方法で「荒城の月」を表現するイベントを開催し、800人を超える参加者で賑わいました。

オープニングでは、竹田市ゆかりのタップダンサー古庄里好氏と竹田市内の小学生15人が練習を重ねてきた見事なタップダンスを披露しました。

また、「荒城の月」の詩を作った土井晩翠の出身地で、竹田市と音楽姉妹都市として交流のある仙台市から、声楽デュオの「ドウ・フレール」が特別ゲストとして出演するとともに、全国公募により県内外から集まった10組の出演者が、太鼓や吹奏楽、合唱、フラダンスなど多彩なジャンルの「荒城の月」を披露しました。

さらに、「瀧廉太郎の音楽をたずねて」と題し、瀧廉太郎が竹田市で過ごした幼少期から、ライブツイヒで病に倒れ帰国するまでのエピソードをナレーションで紹介。彼がどのような人生を生き、どのようにして彼の作品が生まれたのかについて

振り返る機会を設けました。

後半は、男性日本舞踊集団の「弧の会」、ジャズピアニストのスガダイロー、マリンバ奏者のSINSKE、尺八演奏家の藤原道山など、豪華な4組の特別ゲストがステージに花を添えました。

竹田市だからできる国民文化祭イベントとして、「竹田」「岡城」「荒城の月」などのコンテンツとともに、竹田とつながりの深い「瀧廉太郎」を市内外に発信することができました。

●プログラム

オープニング (13:00~13:25) 「荒城の月」タップダンス
FURUSHO NORITAKA Rhythm Speaker Show with TAKETA kids
(古庄 里好氏と竹田の子どもたち)

第一部 (13:25~16:00)

ドウ・フレール (仙台市・声楽デュオ) 他10組

第二部 (16:00~17:30)

SINSKE (マリンバ奏者)、藤原 道山 (尺八演奏家)、スガダイロー (ジャズピアニスト)、弧の会 (日本舞踊)

●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 竹田市 竹田市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭、第18回全国障害者芸術・文化祭竹田市実行委員会

145

豊後大野市「耕す里の大御幸祭」

開催日：平成30年10月20日(土)～28日(日)

開催場所：神楽の里 能場公園・豊後大野市神楽会館



出会の場

祈りの谷

豊かな浦

耕す里

水の森

●実施状況

今年で31回目となる御嶽流神楽大会を拡大し、2日間にわたり開催。天候にも恵まれ約2,000人の参加者で賑わいました。

1日目は、国指定重要無形民俗文化財の神楽座5団体と市内の神楽座や御幸行列（獅子舞・羽熊・神輿）の計14団体が出演、2日目は、地元御嶽神楽をはじめ県内外の神楽座7団体が出演しました。

日頃なかなか見ることができない県外の神楽や御幸行列、また3団体が3つの舞台で同時に舞う出会い神楽など、貴重な演目と圧倒的な迫力を体感することができ、観客の皆様にご好評を博しました。

また、神楽会館では10月20日から28日まで、九州の国指定神楽を中心に神楽の得物（御幣等）やパンフレット、DVD映像やジオパーク・エコパークのパネル展示、ジオラマ等を展示しました。土日には、体験イベントとして神楽の衣装着付・お囃子体験、ジオ・エコパークのバードコール作り等を行い、子どもから大人まで多くの方に楽しんでいただきました。

●プログラム

- 10月20日(土)～28日(日) 豊後大野市神楽会館イベント
(神楽、ジオ・エコパーク展示及び土日体験)
- 10月27日(土) 大御幸祭
- 10月28日(日) 第31回御嶽流神楽大会

●出演団体

10月27日(土)

「国指定神楽座」

三作神楽（山口県）三毛門神楽講（福岡県）
十根川神楽保存会（宮崎県）銀鏡神楽（宮崎県）御嶽神楽（豊後大野市）

「市内神楽座」

浅草流松尾神楽、板井迫神明社神楽座、緒方三社神楽保存会、川辺神楽保存会、黒松神楽、深山流朝地神楽保存会

「御幸行列」

雨堤獅子保存会、宇田枝羽熊座、御嶽神社

10月28日(日)

横堀岩戸神楽保存会（熊本県阿蘇市）

櫟木神楽座（由布市）

重岡岩戸神楽保存会（佐伯市）

城原神楽保存会（竹田市）

柴山八幡社付属柴山俚楽（豊後大野市）

清川子ども神楽保存会（豊後大野市）

御嶽神楽（豊後大野市）

●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 豊後大野市 豊後大野市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭、第18回全国障害者芸術・文化祭豊後大野市実行委員会 第31回御嶽流神楽大会実行委員会

Paranormal Rainforest and Haunted Electricity 2018

— おおいた文化の祭典 —

開催日：平成30年10月27日(土)

開催場所：豊後大野市総合文化センター(エイトピアおおの)



●実施状況

仙台在住のピアニストであり、作曲家の渡邊琢磨氏による弦楽器を使ったワークショップとコンサートを国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭「おおいた文化の祭典」事業として開催しました。

渡邊氏は、若い頃からその才能が目目され、近年は映画やドラマの音楽でも活躍が目立つようになり、平成29年は映画「美しい星（吉田大八監督）」、平成30年はドラマ「60誤判対策室」などの劇伴を担当しています。大分県とは縁が深く、平成23年から毎年演奏会を続けています。渡邊氏の「大分でしかできないことに挑戦できないか」との意向を受けて今回の企画が生まれました。渡邊氏が新曲を書き下ろすのですが、その曲が完成する前から弦奏者を募集しました。どんな曲を演奏するかわからないにも関わらず応募があり、中には演奏未経験の方もいました。参加した弦奏者は不安だったことと思いますが、本番前日のワークショップでは、下手をすれば騒音になるような曲が渡邊氏の指揮により、これまで聞いたことがない不思議で美しい音楽が出現し、全員の不安が吹き飛びました。

本番は、渡邊氏のピアノ演奏から始まり、ゲストの徳澤青弦氏（チェロ）、千葉広樹氏（コントラ

バス）とのデュオとトリオ演奏を堪能した後、参加者全員の演奏、後半も同様の構成で行いました。決して耳に心地良い音楽とは言えないのに、会場は興奮状態となりました。後日、弦奏者として参加した女性（70代）から寄せられた手紙には、「半信半疑の気持ちでしたが、体験してみたら沢山得るものがあった」とありました。また、コンサート終了後、出演者と観客を交えた交流会も実施しました。

今回の企画は、大分で「日本の音楽史に刻まれるべき音楽会を実現させたい」という強い思いから挑戦したものでしたが、大成功となりました。

●プログラム

9月30日（日）、10月26日（金） ワークショップ
10月27日（土） 18：00～ 演奏会

指揮・ピアノ 渡邊 琢磨 チェロ 徳澤 青弦
コントラバス 千葉 広樹
録音 中村 督 濱野 睦美
今回応募いただいた弦奏者の方々

●主催者

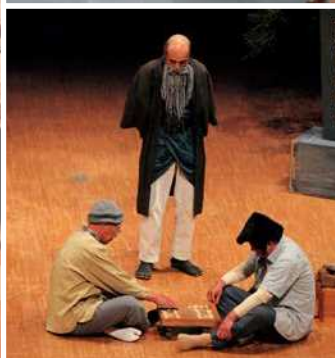
文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 大分芸術文化支援の会

147

豊後大野市総合文化センター開館20周年記念 実りの里の芸術祭

開催日：平成30年10月30日(火)～11月18日(日)・24日(土)

開催場所：豊後大野市総合文化センター(エイトピアおおの)



出会の場

祈りの谷

豊かな浦

耕す里

水の森

●実施状況

「地域の文化芸術の集結!次世代への継承!」をサブテーマに掲げ、子どもから高齢者、障がいのある方もない方も参加できる大会として実施しました。

美術の部では、絵画や写真、俳句や書、彫刻やいけ花など多くの部門を設け1,300点あまりが出品されました。また、地元の福祉施設からの参加もあり、障がい者アートの普及につながる機会も創出されました。

芸能の部の1日目(11月10日)は、三重総合高校の吹奏楽部・演劇部、一般劇団2団体による舞台発表を行いました。2日目(11月11日)は、旧7町村ごとに地域の特色を活かした舞台が披露されるとともに、お茶席も設けられ、たいへん好評でした。

11月24日は、一般公募による合唱隊39人と3人の音楽家が、「岩戸開き」や「八雲弘」といった神楽の演目をモチーフにした曲を「神楽オペラ」と題して披露しました。この日のために合唱隊は、8月から週1回の練習を行い、さらに、11月からは音楽家による指導も行われました。公演当日は練習の成果がいかに発揮され、出演者と観客が、感動を共有することができました。

期間を通じて3,000人に迫る参加者が会場に足を運び、地域文化の振興につながる大会となりました。

●プログラム

- ・美術の部
 - 10月30日(火)～11月4日(日) 写真・彫刻・工芸
 - 10月30日(火)～11月18日(日) 障がい者アート
 - 11月6日(火)～11月11日(日) 絵画・絵手紙・水墨画・俳画・俳句
 - 11月10日(土)・11日(日) いけ花
 - 11月13日(火)～11月18日(日) 書道
- ・芸能の部
 - 11月10日(土) 吹奏楽・演劇
 - 11月11日(日) 各町の特徴を生かした芸能発表お茶席
- ・神楽オペラ
 - 11月24日(土) SHINWA
～アマテラスとスサノオ～
合唱版再演!!&ソリスト達の歌とピアノの響宴

●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 豊後大野市 豊後大野市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭、第18回全国障害者芸術・文化祭豊後大野市実行委員会